

# 大学生の対人ストレスにおけるコーピングと友人に対する感情・コーピング評価の関連

○児玉なみ<sup>1</sup>・井内田利広<sup>2</sup>・石田 弓<sup>1</sup>

(<sup>1</sup> 広島大学大学院教育学研究科・<sup>2</sup> 京都教育大学教育学部教育学科)

## 目的

対人ストレスへのコーピングは精神的健康だけでなく、友人に対する感情の満足感に影響を与える(加藤, 2006)。またコーピング評価が高いほど精神的健康が高まる(高本・相川, 2013)。コーピングが精神的健康に影響を及ぼすまでの過程の中に、友人に対する感情とコーピング評価が変数として存在すると考えられる。本研究では友人関係を起因とした対人イベントにおいて個人が使用するコーピングと友人感情の関連性、及びコーピングとコーピング評価の関連性について検討することを目的とする。

## 方法

調査の手続きと被調査者

大学生・大学院生 236 名を調査対象とした。

質問紙

①大学生用対人ストレスコーピング尺度 (ISI) (加藤, 2000) : 入学してから現在までに、友人関係で感じたストレスに対して、どのような行動をとったかを尋ねた。友人の性別は限定しない。

②自分の選択したコーピングへの評価に関する質問 : ①で回答した行動が、どの程度有効であったかについて、4 件法で回答を求めた。

③友人に対する感情を測定する尺度 (榎本, 1999) : ここでの友人とは回答者が①の尺度に回答する際に想起した者を指す。

## 結果と考察

### コーピングスタイル

ISI 得点を用いて Ward 法によるクラスタ分析を行い、4つの群を得た。第1クラスタは、ネガティブ関係コーピングの得点が特に低いためネガティブ低群とした。第2クラスタは、ポジティブ関係コーピングの得点が特に低いためポジティブ低群とした。第3クラスタは、解決先送りコーピングの得点が特に高いためポジティブ・先送り高群とした。第4クラスタは、ポジティブ関係コーピングとネガティブ関係コーピングの得点が特に高いため両極端群とした。

### コーピングスタイルと友人に対する感情の関連

4つのコーピングスタイルによって友人に対す

る感情の得点が異なるかどうかを検討するために、1 要因分散分析(独立変数 : クラスタ(4), 従属変数 : 友人感情尺度の下位尺度(5))を行った。その後 Tukey の HSD 法(5%水準)による多重比較を行った。(Table 1)。その結果、ポジティブ関係コーピングの使用頻度が高い群ほど、相手に対して信頼・安定感情を強く抱くことがわかった。唯一、ポジティブ関係コーピングをよく用いる両極端群の「信頼・安定」感情が低かったのは、相手との関係を積極的に改善したり、放棄するといった両極端な行動をとることで、相手との安定した関係が構成されにくくなったためと考えられる。

また、ポジティブ関係コーピングと解決先送りコーピングの高低が、不安感情の高低に関係していることが示唆された。さらに、ポジティブ関係コーピングの使用頻度が低い群ほど、相手に対してライバル感情を抱かないことが示された。相手を知る機会が減るため、相手に対して対抗心を抱きにくくなることが考えられる。

### コーピングスタイルとコーピング評価の関連

4つのコーピングスタイルによってコーピング評価の得点が異なるかどうかを検討するために、1 要因分散分析(独立変数 : クラスタ(4), 従属変数 : コーピング評価得点(1))を行った。Tukey の HSD 法(5%水準)による多重比較を行ったところ、ポジティブ・先送り高群と各群との間にそれぞれ有意な得点差が見られた。このことからストレスを感じた相手と積極的に関わろうとしたり、楽観的に何とかなるだろうと思ひ、行動を何もしない学生は、他のコーピングスタイルをとる学生よりコーピングがより有効であったと評価することが明らかになった。また、どのコーピングを使用しても一定の評価はなされることが考えられる。

Table1 各群の友人感情得点の平均値、SDと分散分析結果

	1.ネガティブ低		2.ポジティブ低		3.ポジティブ・先送り高		4.両極端		F	多重比較
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD		
信頼・安定	3.56	1.05	2.89	1.13	4.09	1.32	3.13	1.12	8.00***	1)2,3)1,3)4
不安・懸念	1.44	0.39	0.83	0.41	2.22	0.28	1.67	0.41	76.18***	1)2,3)1,3)2 3)4,4)1,4)
ライバル	4.23	0.96	3.74	1.09	4.97	0.78	4.09	1.11	6.86***	1)2,4)2
独立	2.58	1.15	2.55	1.17	2.94	1.39	2.91	1.33	1.21	

p<.001\*\*\*